

緑と水・心ふれあう古里

豊かな田園とくらしを未来へつなぐ



最上川水系田沢川

田沢川ダム

緑豊かな自然に

威風堂々

「伝統と緑の古里に映える美しいダム」

田沢川ダムは最上川水系の相沢川の左支川一級河川田沢川の上流部、平田町山元地区に建設され、周辺の緑の中に堂々とその威容を誇っています。近くには名瀑「十二滝」や庄内平野を一望するビューポイント「眺海の森」、江戸時代の旧家をそのまま保存している「旧阿部家」などの景勝地や史跡があります。ダム上流を奥深く進みますと最上地方との郡界「与蔵峠」があり、峠を越えると鮭川村へと通じます。



ひらた赤滝湖

田沢川ダムによって出来た湖を「ひらた赤滝湖」と命名されました。ダムの上流10km程に原生林にて囲まれた古来赤滝様と呼ばれ、赤滝山不動明王の霊所、飛鳥神社の獅子頭が生まれた聖地として、地元住民から崇め親しまれてきた「赤滝」にちなんで付けられました。赤滝の「アカ」

は、梵語やアイヌ語で信仰の水、浄水を意味し、それを示すかのように長雨の時や干ばつでも水量に大きな変化が見られないと伝えられている。ダムの完成後においても赤滝からの水が滔々と尽きることなく恵みを与えることを願って付けられ、地域住民の方々から広く公募した中から選ばれた名称です。



田沢川ダムの 目的

「北庄内の安全と潤い、おいしい水の確保」

ダムはその目的によっていろいろなダムがありますが、田沢川ダムは住民の生命・財産を守り、自然環境を保全し、下水道等の普及による水需要の増加に対して安定的な供給を図ることを目的とする多目的ダムです。主な目的として次の3つです。

洪水
調節

安心して暮らせる生活の確保

田沢川及び相沢川沿川は、昭和46年7月16日にダム周辺で一日に降った雨の量が260mmという50年に一度と言われる大きな集中豪雨により、未曾有の大水害に見舞われて被害額10億円（昭和60年度試算）を越えました。ダム完成後はこのような大雨の時でも沿川に住む平田町、松山町の約3,800人の生活と財産及び400haの田畑を洪水被害から守ることができます。

ダムに流入する計画高水流量250m³/秒（一日に降る雨の量260mm程度）のうち200m³/秒を一時的にダムに貯留し、下流の河川が氾濫することを防止します。



昭和46年7月16日の田沢川の氾濫状況（平田町田沢地内）

河川機能
の
維持

河川とその周辺に潤いを与えるダム

川の水は、農業用水や生活のための用水として使用したり、川に生息する動植物の保護、地下水位の維持、流れる水の清潔さを保つ機能を持っています。

田沢川は、沿川の耕地に貴重な農業用水として利用されてきましたが、夏場の渇水時には水不足に見舞われ、農作物に深刻な影響を及ぼすと共に、水の流れが切れることにより水辺の動植物の生息にも影響を与えてしまいました。

このような渇水の時に、ダムに貯めた水を流すことにより、下流で必要な水の流れを保つことができ、河川本来の機能や潤いのある河川環境を維持することができます。



水道
用水

安定した水道用水の供給

水道用水は、下水道などの普及によってますます使用量が増えていきます。田沢川ダムでは酒田市（八幡町の一部含む）、平田町、松山町の計133,300人に一日最大33,700トンの水を補給することができます。酒田市では全給水量の約3割、平田町では約6割、松山町では全量をこのダムから供給することとなります。



田沢川ダムの特徴

水没家屋ゼロ

- 1** ダムによって水没する家屋や耕作地がなかったことです。また地域の方々のダムに対する理解も深く、用地取得にも問題なく順調に進めることができました。

管理用発電

- 2** ダムで使用する電気を自ら発電することです。ダムの水を利用する水力発電で、余った電力については電力会社を買っていただき、家庭にも届く事になります。年間で一般家庭で使用する電力量の660戸分に相当します。

エレベーター

- 3** エレベーターの設置です。ダムの内部は、上から下まで長い階段で結ばれていて、点検や観測のための監査廊（ギャラリー）が設置されています。このダムは高さ81mあり県管理のダムでは最も高いダムで、点検や観測の作業の効率性を高めるために、エレベーターを設置するものです。

展望広場

- 4** ダムの中央には展望広場を設置し雄大な湖面や周囲の自然景観をゆったりと眺めることができます。この広場には、平田町出身の彫刻家石黒光二氏のモニュメント「恵水」が、平田町「彫刻の散歩道」の14番目として設置されており、また、照明設備についても、近くに天体観測所（眺海の森）があることから、夜間の明るさを考慮した照明とし、従来型の照明灯からダム頂部の手摺りへの埋め込み型照明設備とした。

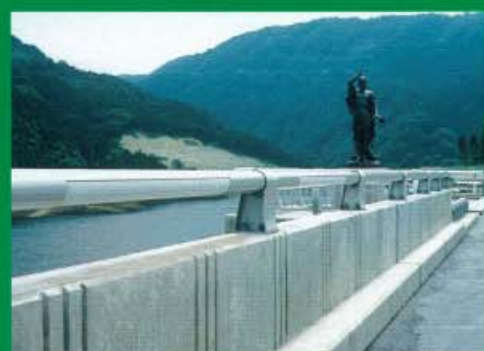
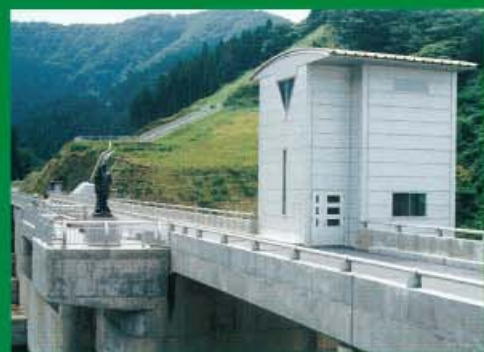
全景



下流面



エレベーター上屋と展望広場



「恵水」作：石黒 光二氏



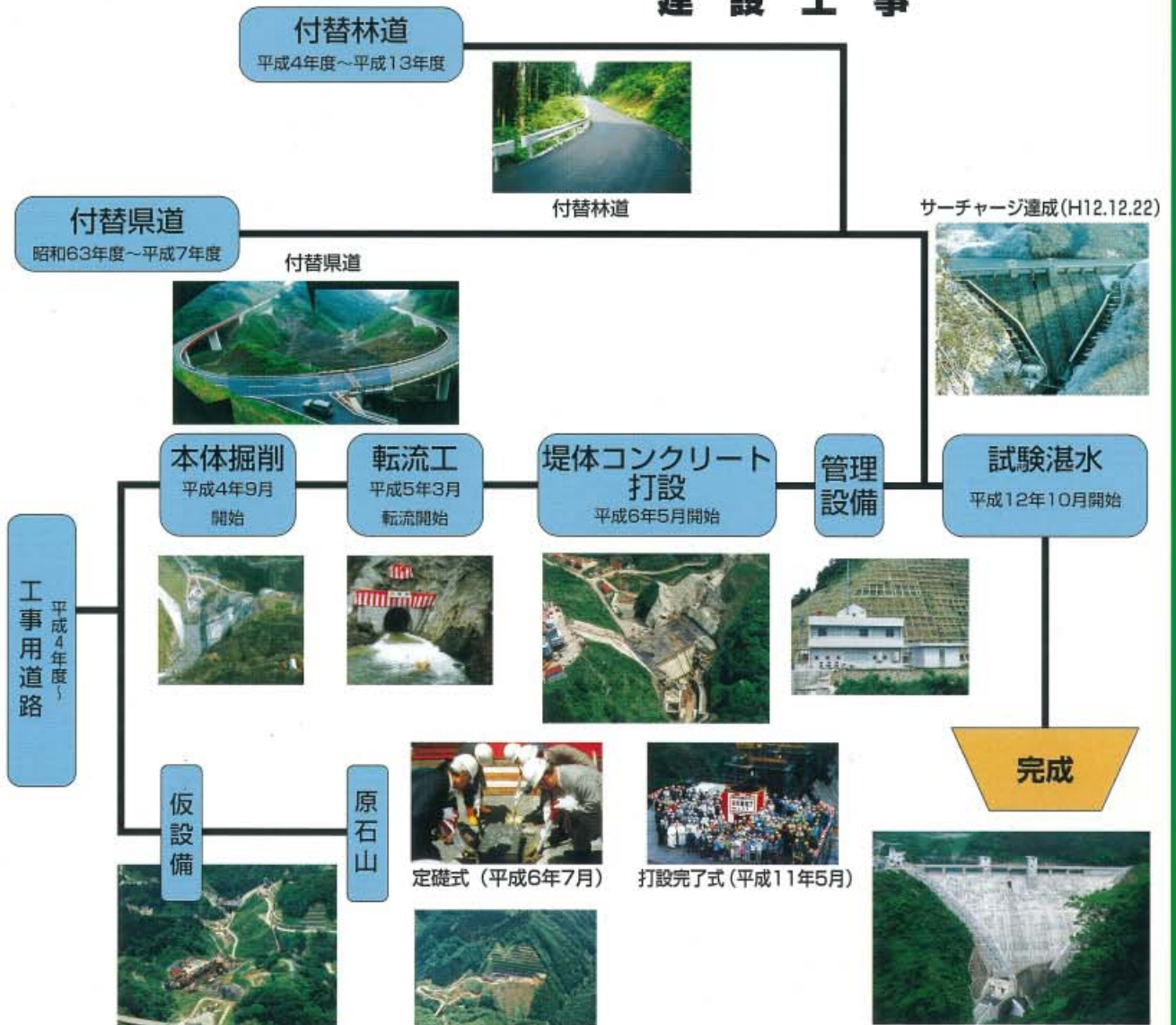
「フローラ」作：高橋 剛氏

田沢川ダムが **できるまでの流れ**

昭和46年7月の災害の爪痕



建設工事

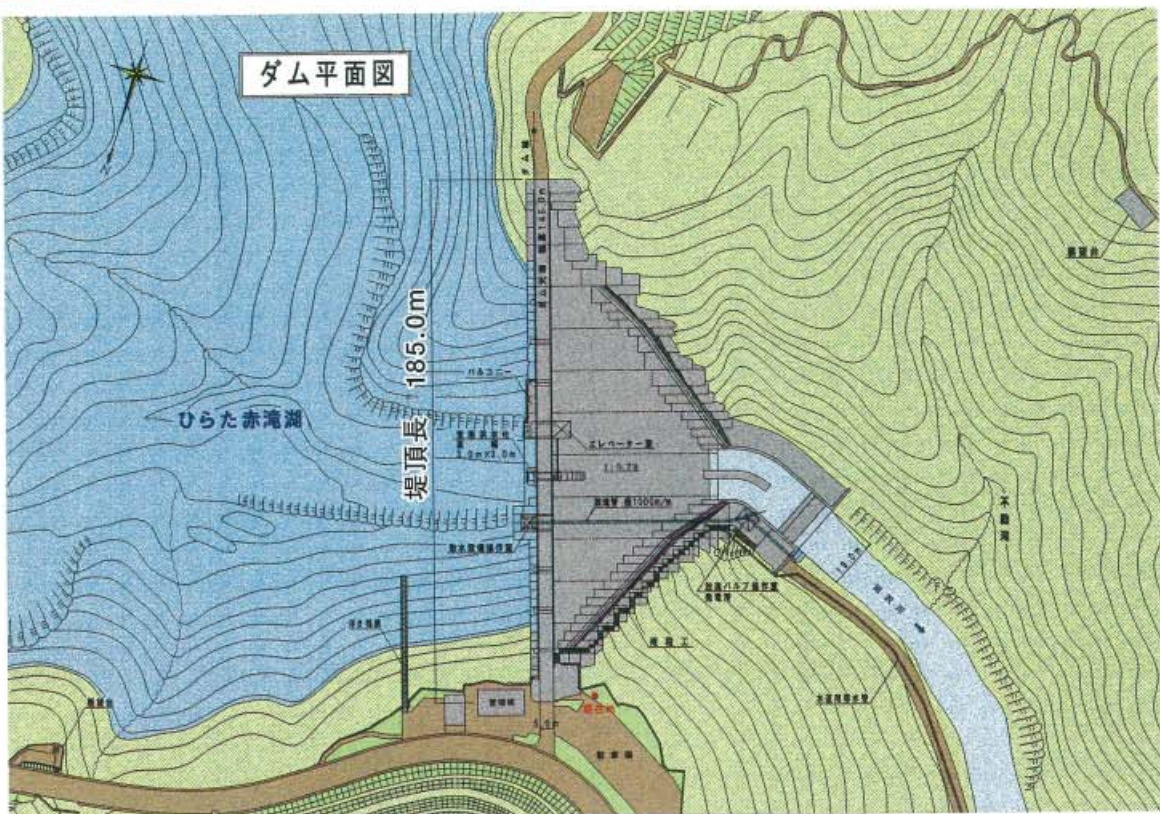


田沢川ダムの概要

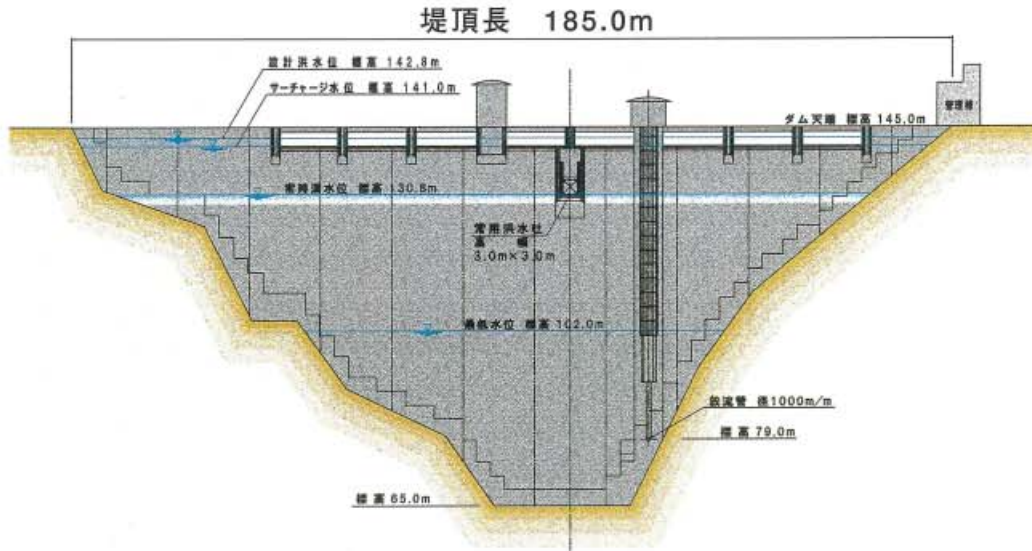
ダム位置図



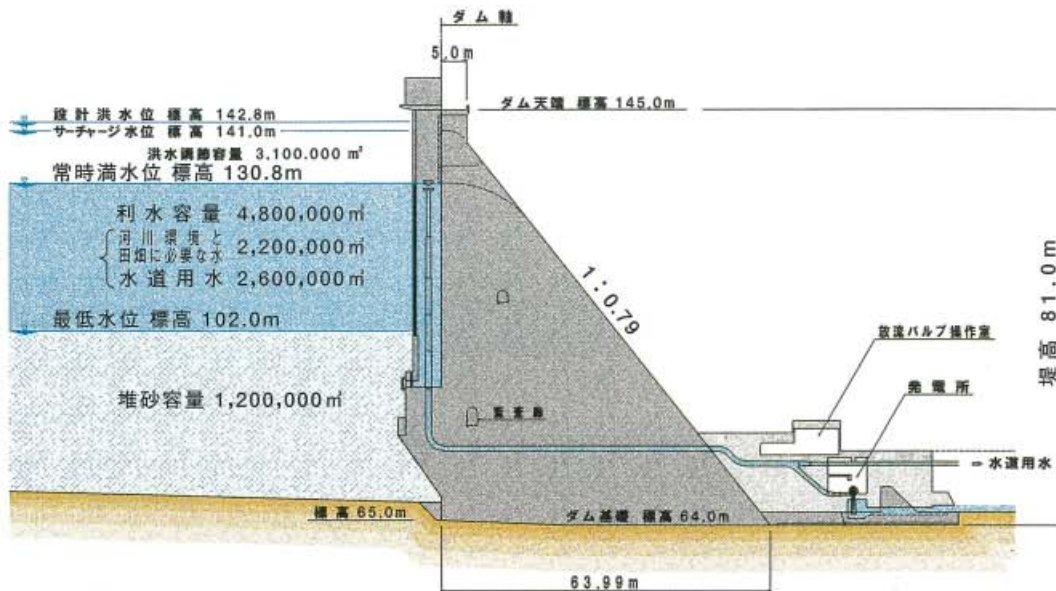
ダム一般平面図



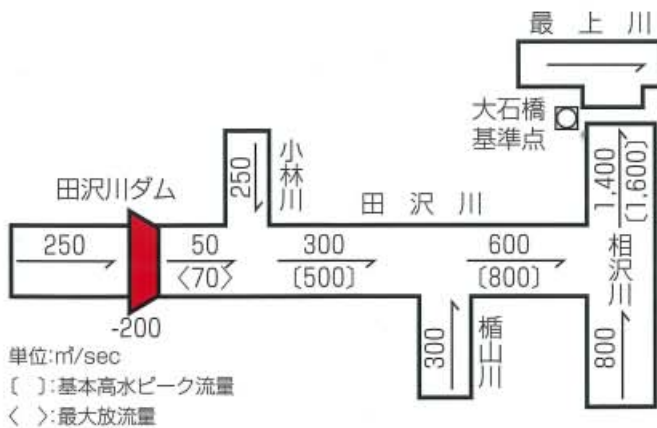
ダム上流面図



ダム標準断面図



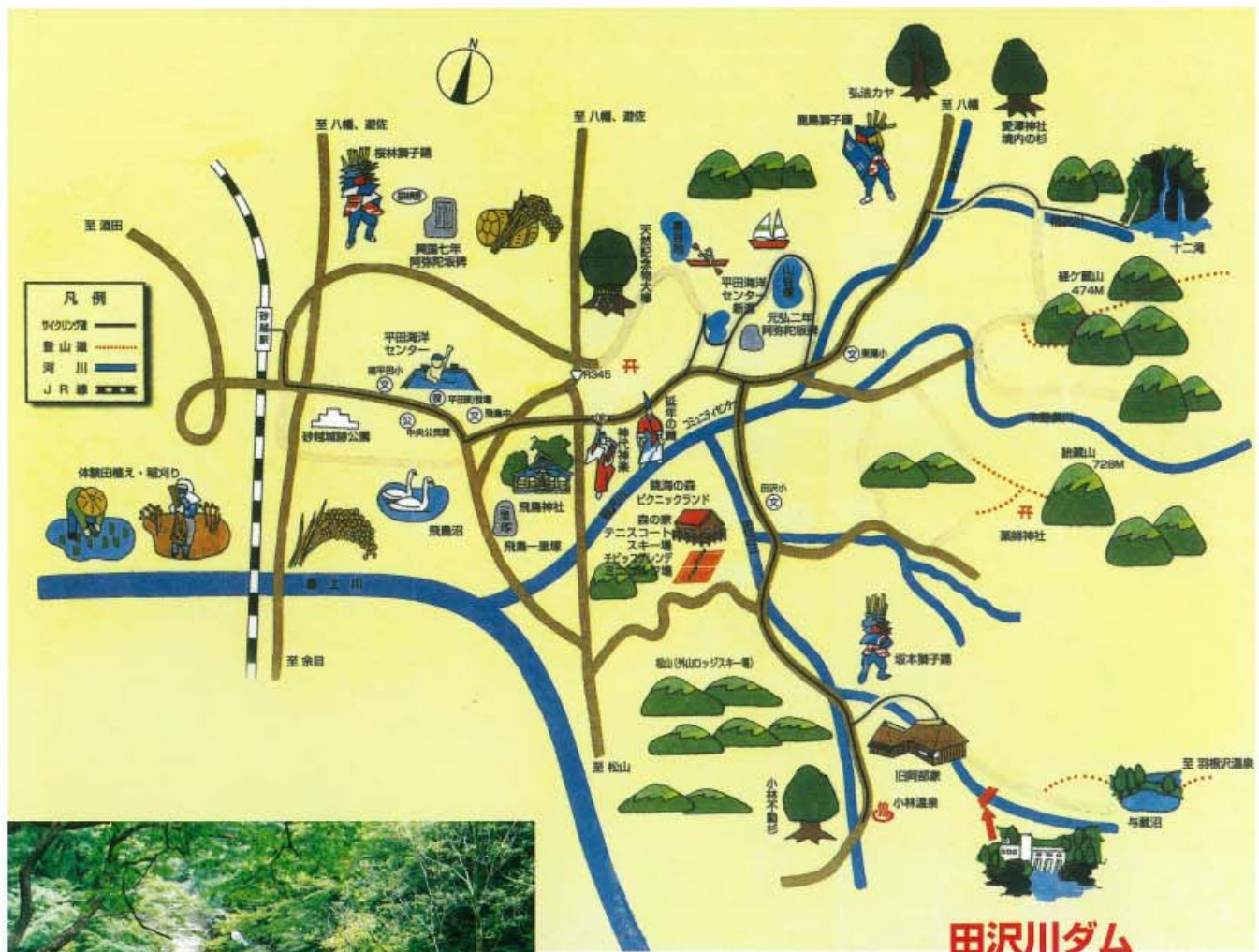
計画高水流量配分図



ダム及び貯水池諸元

位	置	飽海郡平田町大字山元
ダム	形式	重力式コンクリートダム
	堤高	81.0m
	堤頂長	185.0m
	堤体積	217,000m ³
	堤頂標高	145.0m
治水	計画高水流量	250m ³ /秒
	ダム設計洪水流量	500m ³ /秒
	調節方式	自然調節
貯水池	集水面積	23.2km ²
	湛水面積	0.35km ²
	総貯水容量	9,100,000m ³
	有効貯水容量	7,900,000m ³
	常時満水位	標高 130.8m
取水	サーチャージ水位	標高 141.0m
	設計洪水位	標高 142.8m
取水・放流設備	常用洪水吐き	オリフィスによる自然調節 高3.0m×幅3.0m×1門
	非常用洪水吐き	クレスト自由越流 高1.8m×幅12.5m×8門
管理用発電	取水・放流施設	シリンダーゲート 径800~1600m/m ジェットフローゲート 径250m/m
		最大使用水量 1.0m ³ /秒 最大出力 490kw

ダム周辺案内図



名勝 十二滝



平田町の花 ミスミ草